

ファンクをやるために
歴史を知ろう

ファンクとは

- 1960年代に成立したダンスマュージック
 - ソウルの流れを引き継ぐ
 - ソウルと呼ばれる人たちでもファンクをやっている。
 - ジャズのバックグラウンドがある人が多い
 - 土地ごとのスタイルがある
 - ファンクと言われた人たちがディスコもやっている。
 - スタイル的にはファンクとディスコの大きな差はない。
- Out of sightが嚆矢
- 音楽的な特徴
 - 16分音符の強調
 - ベースライン
 - ギター
 - ホーン
 - スクエア、バウンス
 - シンコペーション
 - ハーモニー
 - コードの単純化
 - モード

土地ごとの特徴1

- スタジオごとにハウスバンドがあった
- 南部
 - 黒人人口が多い
 - 80年代以降大移動が始まる
 - 最大のトレンド
 - スタックス
 - BAR-KAYS
 - MG'S
 - Hi
 - Hi Rhythm
 - GAP-BAND
- ニュー・オーリンズ
 - 50年代のR&B中心
 - カリブ海文化
 - ラテンジャズなどが強かった
 - R&B、ソウルの担い手がファンクの担い手にもなった
 - The Meters
 - Eddie Bo
 - The Wild Magnolias
 - Chocolate Mik
 - Neville Brothers

土地ごとの特徴 2

- 西海岸
 - ベイ・エリア
 - LA
 - 人種混淆バンドが多い傾向にある
 - 大規模な編成
 - Sly&The Familystone
 - The Watts 103rd Street Rhythm Band
 - James Gadson, Al Mccay
 - WAR
 - Tower Of Power
 - Cold Blood
 - Earth Wind&Fire
 - ホーンはテキサス人脈
 - Betty Davis
 - Head Hunters

土地ごとの特徴 3

- 東海岸

- ヒップホップの震源地となる
- 最後の生演奏ファンクである Go-Go
 - ワシントンDC
- パーカッション
- コール＆レスポンス
- ジャズ、ラテンなどの影響も大きい
- 代表的なアーティスト
 - Kool & the Gang
 - B. T. Express
 - Black Heat
 - Fatback Band
 - Mandrill
 - Cameo

土地ごとの特徴 4

- 中西部
- テクニシャンが多い
- ファンクが盛んな地域
- 代表的なアーティスト
 - The Isley Brothers
 - JB'S
 - P-Funk
 - Funkadelic
 - Parliament
 - Ohio Players
 - Lakeside
 - Sun
 - Slave
 - Zapp&Roger
- ミネアポリス・ファンク
 - プリンス

土地ごとの特徴 5

- 中西部
- デトロイト
- シカゴ
 - Motown
 - Curtis Mayfield
 - Amp fiddler
- James Jemersonの影響は全国区
- Motown出身のミュージシャンのその後
- テクノへのつながり

音楽的な特徴 1

- ドラム
 - デッドなサウンド
 - 南部はローピッチ
 - Levon Helmなどの発言通り
 - 16分音符の強調
 - ドラマーの個性
 - ゴーストノートの音楽的使用
 - シンプルなサウンドが多いが、ドラマーによって大きな違いがある
 - Zigaboo
 - David Garibaldi
 - James Gadson
 - レイドバック
 - ソウルの流れを引き継ぐ
 - ドラムがジャストから遅れる
 - バウンス
 - ハイハットワークの複雑化
 - ライドの使用の低下

音楽的な特徴 2

- ベース
 - 16分音符
 - 音価のコントロール
 - キックとの位置関係
 - シンコペーション
 - アンティシペーション
 - デッドなサウンド
 - フラットワンド
 - PB
 - スラップ
 - ずっとスラップで通すようなスタイルは少ない
 - アクセントのみプル
 - ドミナント7th上でマイナーペンタトニックなどの使用

音楽的な特徴 3

- キーボード
 - ソウル・R&B・ゴスペルなどのコードワークを受け継ぐ
 - モーダルに考える
 - クラビネット
 - ワウ
 - エンベロープフィルター
 - オルガン
 - オルガンベースの不使用
 - ピアノ
 - 生ピアノ
 - エレピ
 - Rhodes
 - Wurlitzer

音楽的な特徴 4

- ギター
 - ソウル・R&Bの特徴を受け継ぐ
 - ハーモニ一面の特徴
 - モーダルなバックинг
 - ドリアン
 - ミクソリディアン
 - ドミナント7th
 - 9th
 - 13th
 - Jimmy Nolen
 - Chuck Higgins
 - T-Bone Walkerの影響
 - Johnny Otis

音楽的な特徴 5

- ギター

- レイヤー
 - 3-5,(6)弦のシングルノートのカッティング
 - 1~4弦中心のコードのカッティング
 - バラけさせて弾くことが多い
 - 完全コードでは弾かないほうが多い
 - 音域を分ける
 - インバージョンの多用
- 奏法
 - パームミュート
 - 音価
- 薄いサウンド
 - ベース0など
 - フェンダーアンプ
 - ハードパン
- エフェクト
 - ワウ
 - モジュレーション系

音楽的な特徴6

- ギター
 - リズム面における特徴
 - 最小の音価を担うことが多い
 - バウンスなどを担当
 - はね方が一致他の楽器と必ずしも一致しない
 - スネアにロックインするソウル的スタイル
 - Tick Man
 - スライドの多用
 - コードワーク
 - ソウル的なスタイルの応用
 - 1,2弦でコードに対してフィルを入れる
 - 機能和声から考えた代理をフルに使う
 - オクターブ奏法
 - ジャズティストの導入
 - リズムの強調
 - 高音域を埋める
 - マイナーはドリアンと考え拡大解釈